

12月4日（金）

「1年理数科課題研究のための講演会」

本校SSH運営指導委員 前田義幸さん、早稲田大学先進理工学部大学院生 宇山慧佑さんを招いて、「1年理数科課題研究のための講演会」を開催しました。

前田さんからは研究の楽しさ、研究の方法、研究者としての自分（どこまで進められたか、何が分かったか、何が分からないか、何ができそうか、研究成果をどう伝えるか）、テーマの見つけ方についてお話がありました。また国際学生科学技術フェア（ISEF）に日本代表として出場された宇山さんからは、ISEFの様子や研究の方法についてお話がありました。ISEFについては動画を使って紹介していただきました。世界中からの参加があり、高いレベルのポスターセッションが行われ、イベントもたくさんあり、熱気あふれる派手な科学の大会であることが分かりました。また、研究の方法については、研究の手順に沿って説明していただきました。測定したデータをどうまとめるか、データから何が言えるのかについては、ホワイトボードにデータの例を示しながら説明していただき、データの見方について考えさせられました。その他、「日本の常識は世界の常識ではない」、「習っていないから分からないではなく、調べる」、「教科書・本に書かれているから間違いではなく、自分で見分けられるようになってほしい」、「研究をやる時は疑い深くなってほしい」、「自分の研究を1文で説明できればよく理解している」などこれから研究や学習を行う上でヒントになることをたくさん教えていただきました。

